

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 多賀高等学校体育館

【女子の部】 第1日目 Kコート 第1試合

チームA 柴田女子 青森	63	{ 10 1Q 15 14 2Q 16 14 3Q 17 25 4Q 24 OT	72	チームB 佐賀清和 佐賀
---------------------------	----	---	----	---------------------------

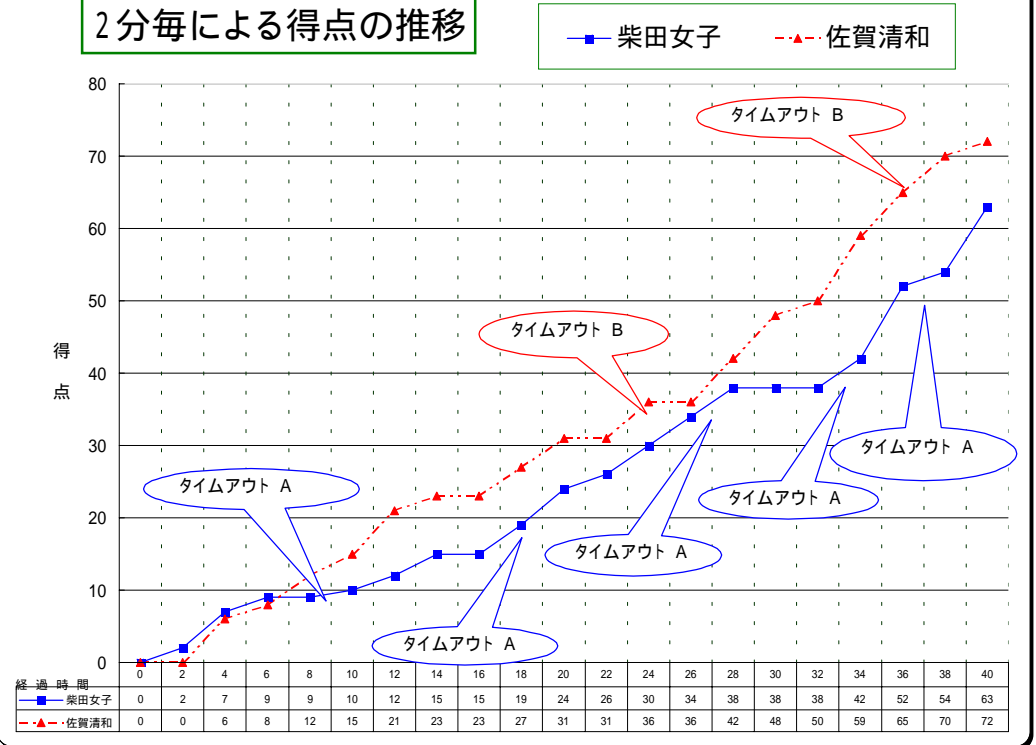
柴田女子

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤亜利紗	20	2	5	7	16	0	3	2	2	2	4	2	2	0	34
5	藤田 佳恵	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	20
6	成田 教子	2	0	1	1	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	27
7	相馬永立子	5	1	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	21
8	春日 流い	16	1	2	5	20	3	4	4	5	5	3	2	4	0	34
9	工藤 舞	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	6
10	相馬いくみ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7
11	坂本真理子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
12	畑中 洋美	12	0	0	6	10	0	0	0	0	1	2	1	1	0	20
13	児玉 和実	4	0	0	2	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	6
14	工藤 麻美	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12
15	中村 優希	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	11
コーチ	小野 尚樹								0							
		63	4	15	24	58	3	7	13	8	15	14	7	8	1	200
		確率	26.7%	41.4%	42.9%				計	23						

佐賀清和

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	俵 麻美	17	3	7	3	3	2	2	4	1	5	3	1	6	0	40
5	三根由香理	11	0	0	5	8	1	3	4	0	4	4	0	3	0	31
6	秋永 麻衣	5	1	8	1	3	0	0	2	0	3	0	2	3	2	40
7	野田 恵	8	0	0	4	9	0	2	2	3	2	3	1	2	1	27
8	出川真沙美	21	2	9	7	9	1	4	1	4	4	3	2	3	0	40
9	池田 香菜															DNP
10	中野 美和	10	0	6	5	8	0	0	4	1	3	2	0	0	0	22
11	山崎 朋美															DNP
12	小田 真美															DNP
13	久原 恵美															DNP
14	坂本 真理															DNP
15	岩佐真理子															DNP
コーチ	眞松 義人								0							
		72	6	30	25	40	4	11	17	9	21	15	6	17	3	200
		確率	20.0%	62.5%	36.4%				計	30						

2分毎による得点の推移



戦評

第1P両チームとも、ハーフコートマンツーマンでスタート。柴田はリバウンドからの速攻や、#8春井のハイポストからの攻撃を仕掛ける。一方佐賀は、インサイド#5三根にボールを入れ、柴田の堅い守りに阻まれながらも、ドライブからの合わせなどで加点。

第2P開始早々、佐賀は#6秋永と#4俵の3Pで得点。柴田は#8春井と#4佐藤のハイ・ローの合わせのプレーからの得点をねらう。その後、柴田は運動量の豊富な#14工藤、#15中村を入れ、ハーフコート1-1-3ゾーンディフェンスにすると、佐賀は攻めきれず、じわじわと効いてくる。23-17と柴田は6点差に詰める。佐賀はたまたま、タイムアウトをとる。柴田が、マンツーマンに戻すと一進一退の速攻が続く。

第3P、柴田のシュートが入りだし、また得点のハイ・ローの合わせのプレーで、オフェンスのリズムをつかみ出す。たまたま、佐賀はタイムアウト。柴田は2点差まで追いつく。その後、佐賀は#5三根を戻すと、リズムを取り戻し38-48と10点のリードで第3Pを終える。

第4P、柴田は#14工藤、#15中村を起用し、激しいハーフコートマンツーマンで相手のミス进行を誘う。柴田はタイムアウトをとり、守りを2-2-1ゾーンプレスに変える。佐賀のガード陣は始めこそ、焦りがあったものの、すぐに落ち着きを取り戻し、着実に得点を重ねる。佐賀が、72-63で勝利を収めた。

主審 川口和泉

副審 川野智子

記入者 染谷隆之